

スマートなモビリティ社会へ。 Hondaは、ひと足先に。

便利でクリーンな社会を実現するため、
Hondaが新たな移動手段として提案する次世代モビリティ。
「MC-β」は、バイクと軽自動車のいいとこどりをした超小型電気自動車です。
エネルギーを効率的に利用したり、
動くバッテリーとしてエネルギーを運ぶことも目指しています。
地域の手軽な移動を、より便利で、環境にやさしく。
これからのモビリティ社会に向かって「MC-β」が走り出しています。



未来をつなぐ次世代モビリティ

MC-β

エム シー ベータ

乗車定員	2名	バッテリー	リチウムイオンバッテリー
サイズ(全長×全幅×全高)	2,495×1,280×1,545(mm)	最大航続走行距離	80km程度
最高速度	70km/h程度	充電時間	3時間以下(200V)
モーター出力	定格6kW/最大11kW		7時間以下(100V)

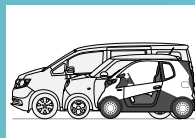
らくらく小回り。

圧倒的に小さい回転半径。驚くほど小回りで狭い路地の曲がり角もらくらく。



街乗り超小型サイズ。

全長は軽自動車よりもさらに車体が短いので、細い道もスイスイ運転可能。



超小型にもMM^{*}思想。

人のためのスペースは広く、メカ系統は小さく、小型でも快適空間。

※マンマキシマム・メカミニマム



熊本県、さいたま市、宮古島市で、 **MC-β**からはじまる

新しい暮らしに向けて社会実験中。

Hondaは、国土交通省の超小型モビリティの導入促進制度を活用し「MC-β」による実証実験に取り組んでいます。

超小型モビリティとは、地域の移動の足となる二人乗り車両で自動車よりもコンパクトかつ、エネルギー消費量は通常の自動車に比べ1/6。環境にも人にもやさしい次世代モビリティとして注目されています。

「MC-β」は、まちづくりに力を入れている熊本県、さいたま市、宮古島市で社会実験中。

都心や郊外での気軽な足として活用、走行に必要なエネルギーの地産地消システムの一環を担い、様々な可能性の検証を実施しています。

熊本県

新しい交通手段「MC-β」で 地方をもっと元気に！

近年、地方の過疎化が問題になっています。その問題解決の一環として、次世代モビリティ「MC-β」の導入による地方活性化の検証を実施。住民や観光客にレンタカーとして貸し出し、低コストで、利便性にすぐれる交通手段として地方に貢献し、クリーンな社会を実現する可能性を検証しています。



☎ 096-333-2319 [小型電動モビリティ導入促進協議会事務局
(熊本県商工観光労働部新産業振興局産業支援課)]

宮古島市

エネルギーも地産地消！ 走った分は、太陽光で充電。

環境モデル都市として、様々な環境に配慮した取り組みを行い、自給自足のエネルギー供給を目指しています。その取り組みの一環として、交通手段としての「MC-β」の利用と株式会社東芝と連携した太陽光発電による再生可能エネルギーの利用実験を実施。自分たちでエネルギーを創り、蓄え、利用する、エネルギーの地産地消の将来性について検証しています。



☎ 0980-72-3751 [小型電動モビリティ等の活用に係る社会実験プロジェクト
推進協議会事務局(エコアイランド推進課)]

さいたま市

これからの都心部の暮らしを 「MC-β」から考えていく。

さいたま市では、街乗りにも便利な超小型サイズの「MC-β」による都心部での活用法と市場創造を検証。保育園や商業施設と連携したカーシェアリングや市民向けの試乗会などを行い、高齢者や子育ての移動を支援する新しい交通システムを開発。都心部における次世代モビリティの可能性を様々な角度から検証しています。



☎ 048-829-1457 [小型電動モビリティ利活用推進協議会事務局(さいたま市環境未来都市推進課)]